平成３０年度 第３回かほく市行政改革推進委員会　会議録

日　　時	平成３０年１０月１７日（水）　１３時３０分～１４時１０分
場　　所	かほく市役所本庁　３０２会議室
出席委員	今村委員、坂野委員、油野委員、渡邊委員、元木委員、森委員、中嶋委員、上村委員、森下委員、細井委員、架谷委員（１１名） ※欠席：山口委員（１名）
事 務 局	総務課【丸井課長、清水課長補佐、荒井総務係長、山本主事】
議 題 等	１．今村会長あいさつ ２．第４次行政改革大綱の策定について ３．第４次行政改革実施計画について ４．その他
会議資料	・第４次行政改革大綱の策定について（方向性素案） ・第３次、第４次実施計画、推進項目一覧 ・今後のスケジュール

〇あいさつ【会長】

〇案件審議

・第４次行政改革大綱の策定について【事務局説明】

事前配布資料「第４次行政改革大綱の策定について（方向性素案）」に基づき説明を行った。要旨については以下のとおり。

①　これまでの行政改革の方向性

平成１６年の合併後、平成１７年度から始まった第１次大綱から第３次にわたり行政改革に取り組み、旧３町基準による組織体制等の適正化や、国の三位一体改革などによる人員や経費の削減、また市民の行政への関心に応えるサービス体制の構築の必要性などを背景に計画等を策定してきた。

②近年の状況

これまでの取り組みによって、その設定目標の多くを達成しており、そのことに伴うマンネリ化のほか、近年様々な計画が策定されていることによる具体的な取組項目の重複、また行政運営のスリム化・経費節減は当然とされる社会背景となってきていることなどがある。

③第４次行政改革大綱の方向性

新たな行政改革の方向性としては、これらの状況を踏まえ、「市民サービスの向上

策の積極的な展開」と、「継続的な組織（事務体制）の見直し」を大きな柱として展開していきたいと考えている。

まず、市民サービスの向上という点では、本来の行政が行うべき事務事業についてもしっかりと対応しつつ、その上で新たな取組を検討していくこととし、サービス向上に繋がる取り組みには財源手当てを考えながら積極的に検討、実施していくとともに、民活という点でも従前の計画では項目として一括りとしていたものをあえて外出しし、官民の事務区分の明確化を図りつつ民間活力の積極的活用を検討していくこととしている。

また、事務体制の見直しという点では、「更に」効率的な財政運営を図ることとし、事務事業の見直しも含め検討を進めることとしている。

そのほか、これらの方向性に加え、総合戦略プラン等他計画に掲載される項目については関連性を考慮したうえで基本的に除き、実施項目や検証作業の重複を避けるなどして、圧縮を図ることとしている。

【質疑応答】

＜委員＞

計画の重複という話があったが、総合戦略は平成３１年度までの取り組みとして策定されていたと思うが、その後も続くのか？

＜事務局＞

その見込みと思われ、総合戦略との重複やその他の計画でも１０年など長期にわたるもの等様々な計画があり、それらと重複した同じ項目を何度も検証するといったことを避けることを念頭に計画を検討している。

＜委員＞

最近民間ではＩＴ（アイティー）化等言われているが、そのようなものを利用した事務体制の効率化などは検討されているか？

＜事務局＞

具体的な取り組みとしては今後となると思うが、例えば窓口の効率化など検討していく余地はあると考えている。

・第４次行政改革実施計画について【事務局説明】

事前配布資料に基づき説明を行った。要旨については以下のとおり。

実施計画は、各課においてそれぞれ取り組む具体的な項目となる。第３次実施計画では５つの基本項目についてそれぞれ実施項目があり、実施項目数としては全部で６６項目あった。

第４次実施計画として現在お示ししたものはあくまで事務局案ではあるが、基本項

目を４つとし、実施項目数は全部で２０項目と大幅に整理統合を行った。なお、「基本項目２」の民間活力の積極的活用に関して、第 3 次までは６６あった実施項目のひとつとしていたが、第 4 次では基本項目に格上げし、より具体的に検討を進めることとしている。このことについては専門部会で、項目を具体的なものにするには実現の可能性や実施手法について検証すべきなどの意見が出ているところである。

また、前回の推進委員会でも意見があった防災体制については実施項目として追加させていただいたところであり、先ほど発言のあった事務のＩＴ化などについても次回専門部会に委員からの意見として報告し、検討に加えていくこととしたい。

専門部会は先日１０月１１日に行われ、実施項目についての検討を開始したところであり、今後も引き続き実施計画の策定に向け委員の皆様方からのご意見も取り入れながら作業を進め、検討内容等についてもこの委員会で報告していくこととしたい。

【質疑応答】

＜委員＞

民間活力の積極的活用について、民間に委託することによる経費節減という面だけでなく、新たな収入を生み出すという仕組みも検討していけばいいのではないか。例えば図書館、哲学館や体育施設など、市は様々な施設を所有しており、どこまで民営とするかという検証も必要ではあるが、そこに人が集まるような企画等について、民間の発想を取り入れることなどを検討してみればどうか。

＜事務局＞

いただいたご意見については項目に加え、専門部会において検討させていただくこととしたい。

○その他

・次回会議の開催について

次回会議については１１月２１日（水）１３：３０からとする。

なお、内容としては、まず実施計画について、現在行っている専門部会での検討内容や決定項目についての報告を行いたいと考えている。

また、行政改革大綱の中身についての検討を開始したいと考えており、第 3 次大綱の内容を確認しつつ、大枠の構成などについて検討し、諮問や方向性などを基に、第 4 次大綱のあり方などについてご意見を頂戴したいと考えている。

・会長より、全体を通しての質問がないか確認。

⇒質疑なし。

１４：１０会議終了。